

大野田古墳群第 26 次調査の成果について

1. 調査要項

調査地点 仙台市太白区大野田四丁目1-6

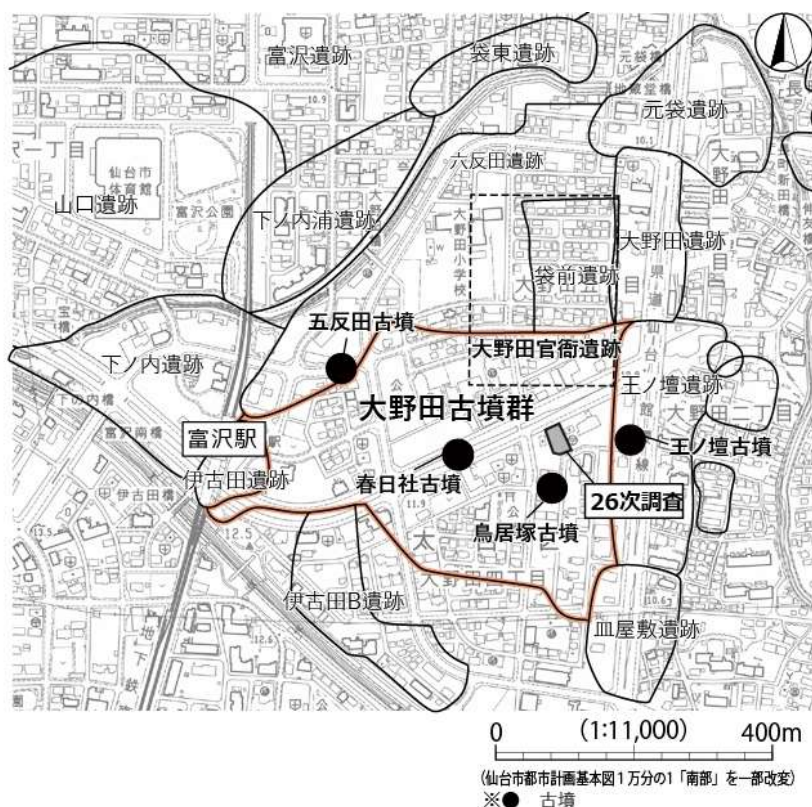
調査期間 令和6年6月5日～9月 27 日

調査面積 312 m²

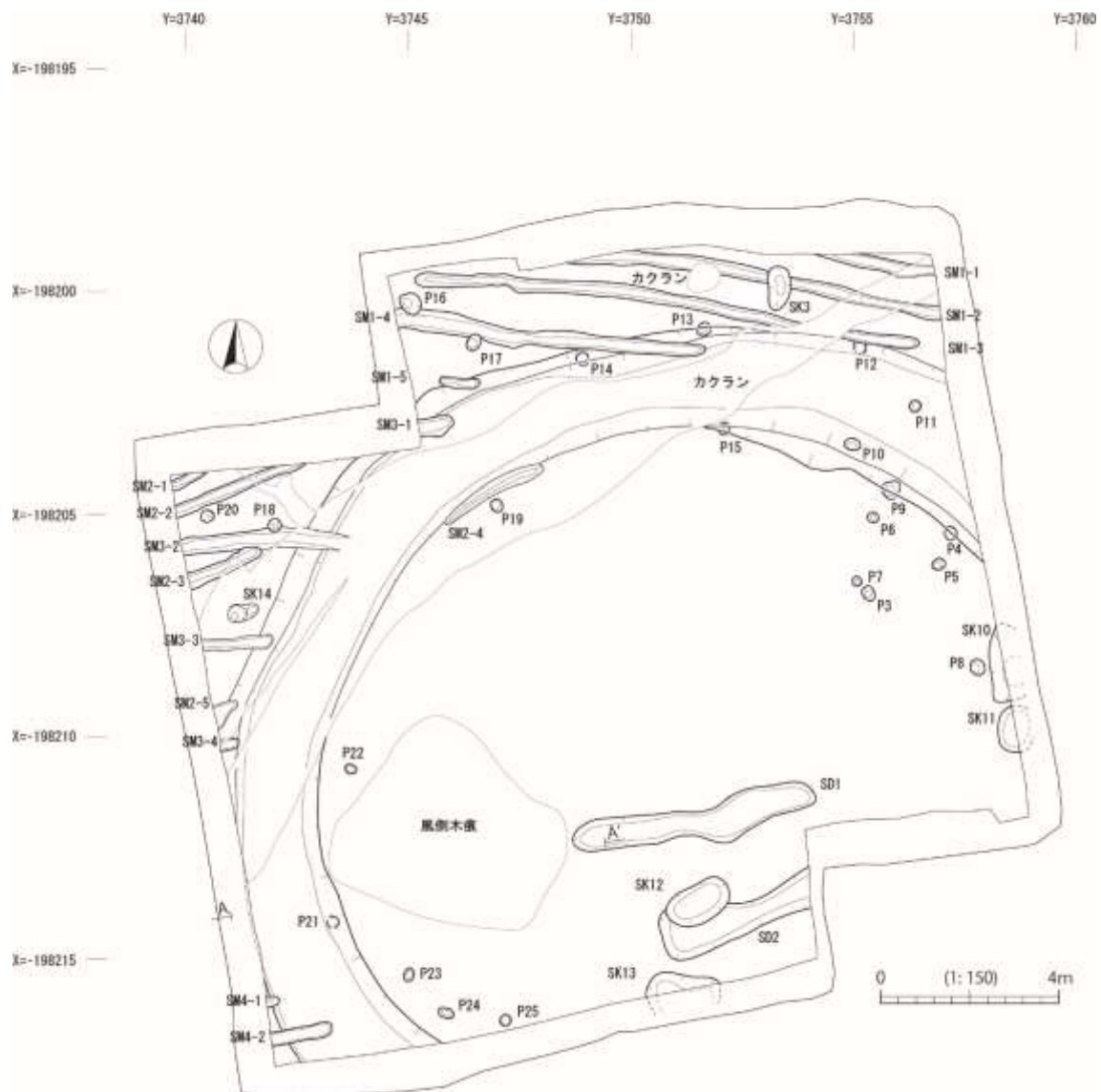
2. 調査概要

大野田古墳群は地下鉄南北線富沢駅の東にある大野田地域に所在している。大野田地域内には春日社古墳や王ノ壇古墳があり、これまでの調査で 44 基の古墳が見つかった。特に春日社古墳の主体部からは、東北地方で初めての出土例となる革盾に加え鉄矛、鉄鏃が副葬品として出土している。これらの遺物は平成 24 年に仙台市有形文化財に指定されている。

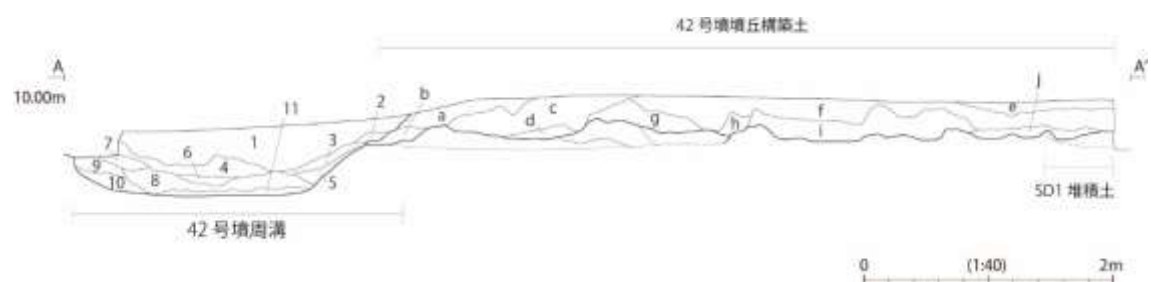
第 26 次調査は民間の共同住宅建設に伴い実施した。調査では、新たに古墳 1 基(42 号墳)と畑の耕作痕跡である小溝状遺構群を確認した。42 号墳は周溝内縁径 17.4m、周溝外縁径 20.9m の中型の円墳で、墳丘の大部分は削平されているものの墳丘構築土の一部が残存している。周溝からは円筒埴輪と朝顔形埴輪、形象埴輪が出土しており、その特徴から 42 号墳の年代は 5 世紀後半から 6 世紀初めであると考えられる。また、小溝状遺構群が古墳の周溝上には延びるものの、墳丘上では検出されていないことから、墳丘は周溝が埋まった後も残存し、その周辺では畑の耕作が行われていたと考えられる。今回の調査で見つかった 42 号墳は大野田地域内では 45 基目の古墳である。



大野田古墳群 位置図



大野田古墳群第 26 次調査図 V 層上面平面図



42 号墳境丘・周溝断面図



大野田古墳群第 26 次調査 V 層上面検出状況(上が北) ※1 区と 2 区の写真を合成



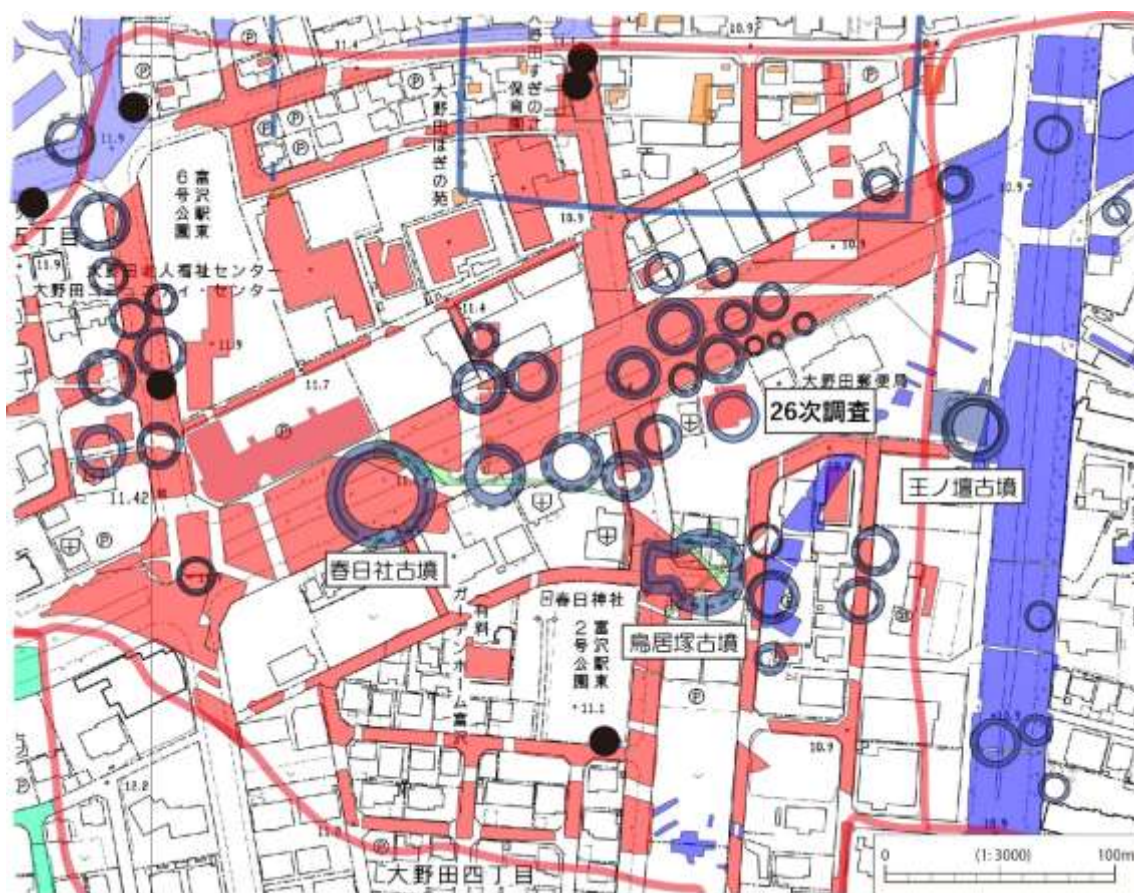
大野田古墳群第 26 次調査 V 層上面完掘状況(上が北) ※1 区と 2 区の写真を合成



42 号墳遺物(S-1)出土状況(南から)



42 号墳出土円筒埴輪(S-1)



大野田古墳群 古墳検出位置図